

## 研究発表もうしこみフォーム

- 氏名：内田 孝
- 氏名のローマ字表記：UCHIDA Takashi
- 所属：滋賀県立大学 非常勤講師
- 専門分野：モンゴル文学、日本・モンゴル教育交流史
- 発表のタイトル：滋賀県立大学図書情報センターが所蔵するモンゴル関連資料の紹介—精松文庫と陳文庫を中心に—
- 発表要旨（600字～800字程度）：

数年前に筆者が見つげ出し、遺族の好意により滋賀県立大学図書情報センターに寄贈され、整理作業が間もなく終わろうとしている故・精松源一氏（元大阪外国語大学教授）のモンゴル関連蔵書には、貴重な書籍・雑誌が含まれている。例えば、国内外において現存が稀少な1945年以前の内モンゴル地域で刊行された書籍・雑誌が多数ある。書籍としては、サイチンガーの著作である『Elesü Mangqan-u Eke Nutuğ 沙原の故郷』および『Ayil-iyän Ögedelegülekü Bicig 家政興隆書』、マニジャブ訳『チンギスハーン』（榎本捨三『成吉思汗』のモンゴル語訳）、満洲国期のモンゴル語教科書数冊などが確認された。また、雑誌では、『Yeke Köke Tug 大青旗』（9号、10号、12号）、『Ulağan Bars 丙寅』8-6（1942年6月）、『Dakin Manduğsan Mongğol-un Cimege 復興、モンゴルの声』（6号、15号）、『Sin\_e Mongğol 新モンゴル』（2号、3号）などが確認された。

また、同センターが所蔵する陳文庫（神戸在住の華僑であり書店経営者でもあった故・陳徳勝氏のコレクション。約1.2万点）の中にも、1945年以前に日本で刊行されたモンゴル関連書籍が多数含まれている。例えば、チンギスハーン関連の書籍だけでも、エレンジン・ハラ・ダワン『成吉思汗伝』（本間七郎：訳、東京朝日新聞社、1938年）、プラヴディン『成吉思汗』（濱中英田：訳、富山房、1940年）、1940年に日本国内で上演された劇の原作となった尾崎士郎の小説『成吉思汗』（新潮社、1940年）、大場弥平『成吉思汗全伝』（高山書院、1941年）、満洲日日新聞の連載小説でモンゴル語にも翻訳された榎本捨三の小説『成吉思汗』（全3巻、満洲日報新京本社出版部、1944年）を所蔵する。ほかにも、満洲国期にモンゴル語で創作活動を活発に行っていた青年エルテムトゥグスの作文が収録されている『満洲国の私たち』（満洲国協和青少年団中央統監部：編、中央公論社、1942年）といった稀少書籍がある。

こうした情報を紹介し、今後、国内外の研究者が活用するよう促す。

また、現在、日本の大学や研究機関ではウイグル式モンゴル文字で書かれた書籍のタイトルをラテン文字転写する際に複数の方式が採用されており、ciniiなどで検索する際に不便な状況にある。それについて例を挙げて言及し、今後統一していく必要性について問題提起を行う。

（了）